

2011年度

科目名	病態検査学				
担当教員	田中 静吾、竹橋 正則				
配当	薬科4			コード	80279
開期	集中前期	講時	集中0限	単位数	2
授業テーマ	【必須】 症候と臨床検査値による病態把握				
目的と概要	適切な薬物治療を行うためには、体の病的変化を正しく理解しなければならない。そのためには、症候(患者さんの示す様々な訴えや診断所見)と臨床検査値の知識が必要である。本科目では、症候と代表的な疾患との関連、疾患が患者に及ぼす心理的影響および臨床検査値に関する基本的知識の修得を目的とする。				
成績評価法	期末テスト(85%)および小テストを含んだ平常点(15%)によって総合的に評価する。				
テキスト	薬学生のための病態検査学／三浦雅一編／南江堂				
参考書	スタンダード薬学シリーズ6 薬と疾病 II.薬物治療(1)／日本薬学会編／東京化学同人				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	講義終了後、しっかりと復習すること(授業で取り上げた検査項目を教科書で学習する)				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	医療全般における位置づけ 症候と疾患(1) (担当:田中)	医療全般中の本科目の位置づけと薬剤師の関わりを説明できる。	独自	知識
			様々な症候について、生じる原因と代表的な疾患を説明できる。	C14(1)	知識
2	講義	症候と疾患(2) (担当:田中)	様々な症候について、生じる原因と代表的な疾患を説明できる。	C14(1)	知識
3	講義	症候と疾患(3) (担当:田中)	様々な症候について、生じる原因と代表的な疾患を説明できる。	C14(1)	知識
4	講義	症候と疾患(4) 信頼関係の確立 (担当:田中)	1. 様々な症候について、生じる原因と代表的な疾患を説明できる。	C14(1)	知識
			2. 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。	A(3)	知識
5	講義	バイタルサイン 血液ガス分析 (担当:田中)	1. 代表的なバイタルサインを列挙できる。	C14(1)	知識
			2. 血液ガス分析の検査項目を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。	C14(1)	知識
6	講義	臨床検査値の見方 (担当:竹橋)	1. 薬物治療における臨床検査の役割を説明できる。	独自	知識
			2. 臨床検査を検査材料および目的で分類できる。	独自	知識
			3. 基準値(基準範囲)の意味を説明できる。	独自	知識
			4. 臨床検査に用いられる主な単位を列挙できる。	独自	知識
7	講義	肝疾患と臨床検査 (担当:竹橋)	1. 代表的な肝機能検査を列挙できる。	C14(1)	知識
			2. その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。	C14(1)	知識
8	講義	腎疾患と臨床検査 (担当:竹橋)	1. 代表的な腎機能検査を列挙できる。	C14(1)	知識
			2. その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。	C14(1)	知識
9	講義	呼吸器疾患と臨床検査 (担当:竹橋)	1. 代表的な呼吸機能検査を列挙できる。	C14(1)	知識
			2. その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。	C14(1)	知識
10	講義	心疾患と臨床検査 (担当:竹橋)	1. 代表的な心機能検査を列挙できる。	C14(1)	知識
			2. その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。	C14(1)	知識

11	講義	血液疾患と臨床検査 (担当:竹橋)	1. 代表的な血液学的検査を列举できる。	C14(1)	知識
			2. 代表的な血液凝固検査を列举できる。	C14(1)	知識
			3. それらの検査値の異常から推測される主な疾患を上げることができる。	C14(1)	知識
12	講義	内分泌・代謝疾患と臨床検査 (担当:竹橋)	1. 代表的な内分泌疾患にかかわる検査を列举できる。	C14(1)	知識
			2. 代表的な代謝疾患にかかわる検査を列举できる。	C14(1)	知識
			3. それらの検査値の異常から推測される主な疾患を上げることができる。	C14(1)	知識
13	講義	感染症・炎症と臨床検査 (担当:竹橋)	1. 感染および炎症にかかわる検査を列举できる。	C14(1)	知識
			2. その検査値の異常から推測される主な疾患を上げることができる。	C14(1)	知識
14	講義	腫瘍マーカー尿・糞便検査 (担当:竹橋)	1. 悪性腫瘍の検査を列举し、推定される腫瘍部位が説明できる。	C14(1)	知識
			2. カットオフ値、検査の感度・特異度について説明できる。	独自	知識
			3. 尿・糞便を用いた検査を列举し、臨床的意義が説明できる。	C14(1)	知識
15	演習	総括とまとめ (担当:竹橋・田中)	症候と代表的な疾患との関連、疾患が患者に及ぼす心理的影響および臨床検査値に関する基本的知識を修得している。	独自	知識
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C14(1)、A(3)	講義または演習	講義室	2	パワーポイント、配布資料	90 x 15回